

1. 評価結果概要表

作成日平成20年10月16日

【評価実施概要】

事業所番号	3770102907
法人名	医療法人社団 緑洋会
事業所名	グループホームアダージョ泉
所在地	香川県高松市春日町1336番地1 (電話)087-841-8828

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	平成20年9月18日	評価決定日	平成20年10月16日

【情報提供票より】(20年8月21日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)16年4月15日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	12人	常勤	12人, 非常勤 0人, 常勤換算 12人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り 3階建ての1階～2階部分
------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	44,000円	その他の経費(月額)	11,000円	
敷金	有(円)		(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	300円	昼食	450円
	夕食	450円	おやつ	50円
	または1日当たり			1,250円

(4) 利用者の概要(9月18日現在)

利用者人数	18人	男性	10名	女性	8名	
要介護1	2名	要介護2	2名			
要介護3	7名	要介護4	3名			
要介護5	4名	要支援2	0名			
年齢	平均	80.5歳	最低	60歳	最高	95歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	泉クリニック	てらい歯科	屋島総合病院	高松協同病院
---------	--------	-------	--------	--------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

市街の静寂な住宅街にある。広い敷地で季節の野菜を植えた菜園が併設されている。ホーム全体に自然光があふれ、明るく落ち着いた雰囲気の中にそれぞれの設備が整えられている。居室はプライバシーを配慮して配置され、各居室は中庭に面した二面の窓があり、四季の移り変わりを楽しむことができる。職員は利用者の持てる力を少しでも持続させようと、根気よく自立支援を図っている。医療機関との連携も確立されていて、安心した生活を送れる体制が整えられている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では、理念の日々取り組み・実践のための利用者の理解と活用、人材の育成と支援、本人がよりよく暮らし続けるために地域資源との協働などについての取り組みが期待されていた。管理者、ケアマネジャー、職員などの交替がありながらも、職員一人ひとりが意見を出しながら、改善への取り組みに臨んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各ユニットの管理者が中心となり自己評価している。全職員で取り組む姿勢はうかがえるが実施には至っていない。各職員が自己評価を行うことはサービスの質向上を図るための一方法でもある。今後、全員で取り組むことが望まれる。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>市担当者、包括支援センター、地域住民、利用者家族の参加があり開催している。今後、定期的に開催し、メンバーに地域住民の代表(自治会長など)の参加を求め、一層地域に根ざした地域密着型ホームを目指すことが望まれる。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>広報誌などは発行していないが、家族には面会時、行事参加のうちに近況を報告している。また、この時を利用して、家族の意見をうかがい迅速に対応している。しばらく面会、連絡がない家族には、近況報告や意見うかがいを請求書に同封したり、電話で近況を報告している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入しており、ボランティアの受け入れ、祭りの獅子舞の訪問などがある。日々の散歩時も近所の方々と挨拶などしている。お互いに地域の住民である意識づけが持てるよう、地域のイベントに参加したり、災害時の地域との協力体制など多方面での積極的な交流が望まれる。</p>

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所独自の理念として利用者が「ゆるやかに老いを受け入れ、ゆったりとした気持ちで暮らしていく中に生きる喜びを感じる」よう支援する介護を掲げている。ただ、地域密着型サービスとしての役割を旨とした内容にはまだ至っていない。	○	現在の理念に加え、さらに地域との関係を保ちつつ、暮らし続けることを支援する具体的なイメージを持った理念を職員と共に考えつくり上げられることが望まれる。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	朝夕の申し送り時、日々のサービス提供場面などで情報や気づきをその都度理念に基づいて、職員間で話し合い申し送り簿で全職員が共有している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、回数は少ないが保育園児の訪問やボランティアの受け入れなど、少しずつ地域の一員となれるような取り組みがうかがえる。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価を踏まえて、改善点をあげ取り組む必要性は十分理解している。管理者の交替もあり十分に機能するまでには至っていない。	○	管理者が交替し、外部評価の意義と結果についての対応が急務であることは十分理解している。今後、年一回の評価を計画的・継続的に取り組み、サービスの質の向上・確保が期待される。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	事業所の年間活動計画、介護報酬単価について、外部評価の意義などを計画的に説明している。しかし、メンバーに地域代表者の参加がなく、地域の理解や支援の機会を活かすまでには至っていない。	○	地域に密着した運営をする上で、地域代表者をはじめ幅広い立場の人に、運営推進会議への参加呼びかけは大切と思われる。これからのホームの多彩な取り組みのモニター役として、また、運営推進会議の定期的開催が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議以外には、日常的な連携はうかがえない。	○	管理者、ケアマネジャーが交替している。この機会に情報源としても行政の担当者との日常的な関係づくりが期待される。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会の度に日常の様子や行事参加時の様子の写真などをお渡しし報告している。面会、連絡がない家族には、請求書に同封したり、電話で近況報告している。必要時はその都度電話で報告している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱は各ユニット受付に設置しているが利用はない。面会時、運営推進会議などの機会に家族からの意見、情報を聴き迅速に対応している。得られた情報は申し送り簿で全職員が共有している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動・交替は利用者への馴染みの関係を保つうえで、日々の介護にダメージを受けることは認識している。ダメージを最小限に防ぐ継続的・具体的な取り組みが課題である。	○	頻回な職員交替は利用者本人や家族が不安や不満を持ちやすい部分であり、やむない場合も、引継ぎの期間を十分にとるなど、スムーズに移行できダメージが最小限になるよう日々の介護・支援で工夫が望まれる。
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の研修への参加意欲はうかがえる。認知症実践研修の受講計画があり、施設内研修も10月から計画している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者との交流は見られない。	○	同業者との交流で、職場内で行き詰っている日頃の仕事の悩みの解消や、事業所として地域密着型のサービスの向上につなげるなど実践の取り組みが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	早急なサービス開始の利用者も多い。利用前の本人・家族の見学、事業所からの訪問で馴染みながらのサービス開始へと配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の思いを十分に受け止め、不自由な部分は支えあい補い合っってゆったりとした気持ちで生活できるよう人生の先輩として尊重し、支えあう関係づくりを大切に取り組んでいる。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話や表情、スキンシップ、行動などから本人の思いや意向、希望を汲み取り、申し送り時に申し送り簿などで情報を共有している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ケアマネジャーが中心となり、朝・夕の申し送り時の情報、本人や家族からの希望や意見を大切に利用者本位の個別性ある介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月ごとの介護計画の見直し、随時状態変化に応じた見直しが適切になされている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に応じて、通院の付き添いなど支援している。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人および家族の希望があれば、これまでのかかりつけ医の医療が受けられるよう家族と相談の上柔軟に対応支援している。事業主が認知症の専門医で毎日ホームに来られるので、適切な医療への受診支援となっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合、予測される場合など前もって本人・家族の意向を聴き、ホームで対応できるケアについて説明している。利用者と家族の意向を大切に考えて、主治医と家族の十分な話し合いを職員が共有し対応している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々一人ひとりへの言葉かけの支援において、誇りやプライバシーを損なわないよう意識している。また、記録物の取り扱いも十分認識し対応している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールは決めているが、利用者の意向や生活リズムに沿った支援で対応している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	委託業者の管理栄養士による献立の食材が届けられている。配膳・下膳も手伝う利用者もおり、個々のペースに合わせた食事を楽しんでいる。行事食は好みを聞いて楽しみな食事となっている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴は午前中に計画され、清拭も行われている。現在利用者は午前中に入浴時間に慣れ、特に問題はない様子である。汚染時にはその都度対応し、清潔が保たれている。	○	職員の都合に合わせた入浴時間になっているように思われる。今後、入浴回数・時間帯についても利用者本位の対応が望まれる。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	洗濯干し、配膳の用意、下膳、キーボード、畑仕事など利用者の生活歴や能力を活かした支援を心がけ、感謝の言葉がけをしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な外出支援は少ないが、希望によりうどんや、喫茶店などに計画して出かけている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	利用者の家族からも安全性の確保が求められ、立地条件・建物の構造上の理由でユニット入口には電気錠を使用している。鍵を掛けない介護の必要性は認識している。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災担当者は専任されている。年2回の訓練計画は予定されているが、実施されていない。	○	予定している消防訓練を実施してもらい、職員だけでは誘導の限界を踏まえ、地域住民に事業所の災害対策に関する理解を求め、協力体制を整え地域に根付いた防災マニュアルの作成が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	委託業者の栄養管理士による献立で栄養管理ができています。食事・水分の摂取状況、排泄状況も同じ記録用紙の中に記録でき、一日の状態が把握できるように工夫している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースは広く、オープンキッチン併設のリビングであり、食事時には香りや、キッチンの音に触れ楽しむことができる。窓は大きく中庭より自然光が溢れ静かで落ち着いた雰囲気が保たれている。壁には版画、写真などの大作が飾られている。畳のコーナーもありテレビ、キーボードが設置され、新しい新聞・雑誌なども置かれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	プライバシーを考慮して配置された居室は広く洗面台が設置されている。部屋の二面に窓があり、それぞれ中庭を望むことができる。写真など馴染みの品物も持ち込み、その人らしい居心地の工夫がされている。		